

環境経営活動レポート

2018年度（2018年4月～2019年3月）

 永大化工株式会社

〒547-0041

大阪府大阪市平野区平野北 2-3-9

TEL 06-6791-3355

FAX 06-6791-7121

発行：2019年9月

環境経営方針

永大化工（株）はプラスチックに携わる企業としての責任を自覚し、企業活動と地球環境の調和を目指し、資源の保護、並びに環境汚染防止を推進し、環境保全活動の質的向上を継続的に進めていきます。

環境経営活動方針

当社の事業活動及び製品、サービスにおいて環境に与える影響を認識、評価し、下記の方針を定め、全従業員に周知し、全員参加で取り組む事とする。

1. 地球温暖化防止の為、二酸化炭素の排出量を削減する。
2. 持続可能な社会の為の省資源を目指した製造、販売プロセスの構築及び節水に努める。
3. 全部門において、循環型システムを開発し、廃棄物削減を進める。
4. 化学物質の適正管理に努める。
5. グリーン購入（調達）に努める。
6. 環境に配慮した製品の開発、販売促進に取り組む。
7. 環境に関する法規制及び行政の環境施策を厳守し、環境保全に努める。
8. 地域社会の環境保全に貢献出来る職場環境作りを目指す。
9. 環境経営システムの継続的改善に努める。

制定：2019年6月27日

代表取締役社長

浦 義則

1. 事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名

永大化工株式会社 代表取締役社長 浦 義則 (2019年6月27日就任)

(2) 所在地

本 社 〒547-0041 大阪市平野区平野北2丁目3-9

奈良事業本部 〒639-0261 奈良県香芝市尼寺408

(小林倉庫) 〒639-0264 奈良県香芝市今泉4-1

天理事業本部 〒632-0063 奈良県天理市西長柄町688

栃木事業本部 〒322-0302 栃木県鹿沼市深程東山990-12

(大平工場) 〒329-0264 栃木県栃木市大平町西水代2737

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者： 常務取締役 鈴木 広二 TEL： 06-6791-3355

担当者： 総務部総務課 植野 直彦 TEL： 06-6791-7753

(4) 事業内容

- ・自動車用フロアマットの開発、製造及び販売
- ・合成樹脂異形押出成形品の開発、製造及び販売

(5) 事業の規模

製品出荷額： 80.9億円/2018年度

全従業員： 144人/2019年4月1日現在

対象従業員： 144人/2019年4月1日現在

	本 社	奈良事業本部 (小林倉庫含む)	天理事業本部	栃木事業本部
従 業 員 数	20	82	22	20
述 べ 床 面 積	1,112 m ²	6,960 m ²	6,705 m ²	6,438 m ²

(6) 事業年度

4月～3月

2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 永大化工株式会社

対象事業所： 本社・奈良事業本部・天理事業本部・栃木事業本部

活 動： 本社 経理・総務・輸出入手続

奈良事業本部 自動車用フロアマットの開発、製造及び販売

天理事業本部 合成樹脂異形押出成形品の開発、製造及び販売

栃木事業本部 自動車用フロアマットの開発、製造管理及び販売、
合成樹脂異形押出成形品の開発、製造管理及び販売

3. 主な環境負荷の実績（2018年度）

各事業部における主な環境負荷の実績は次のとおりです。

項目	単位	本社		奈良		天理		栃木	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
二酸化炭素排出量	kg-CO2	現在、目標設定のためデータ取集中	19,451	216,309	236,635	99,891	240,998	73,222	50,133
廃棄物排出量	kg	現在、目標設定のためデータ取集中	1,248	138,810	143,204	15,472	6,372	28,297	26,640
産業廃棄物排出量	kg	現在、目標設定のためデータ取集中	0	126,622	138,400	15,180	6,000	28,121	26,500
一般廃棄物排出量	kg	現在、目標設定のためデータ取集中	1,248	12,188	4,804	292	372	176	140
総排水量	m ³	現在、目標設定のためデータ取集中	235	1,902	1,110	595	1,167	330	320

項目	単位	全体(奈良・天理・栃木)		
		目標	実績	達成度(目標+α)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	389,422	527,766	△35.5%
廃棄物排出量	kg	182,579	176,216	3.5%
産業廃棄物排出量	kg	169,923	170,900	△0.6%
一般廃棄物排出量	kg	13,137	5,316	59.5%
総排水量	m ³	2,827	2,597	8.1%

以下、各事業本部に分けて記載します。

1. 環境経営目標とその実績（奈良事業本部）

当事業本部における環境経営目標と実績は次のとおりです。

項目		年度	2010年 (基準年)	2018年		2019年	2020年	2021年
				(目標)	(実績)			
二酸化炭素排出量		総量 (kg-CO ₂)	284,617	216,309 (△24%)	236,635 (△17%)	207,770 (△27%)	199,232 (△30%)	190,693 (△33%)
内 訳	電力の 省エネ	使用量 (kWh)	809,089	614,908 (△24%)	591,413 (△27%)	590,635 (△27%)	566,362 (△30%)	542,090 (△33%)
		生産量あたり 使用量 (kWh/m ³)	2.061	1.566 (△24%)	2.413 (+17%)	1.505 (△27%)	1.443 (△30%)	1.381 (△33%)
	ガソリンの 削減 (営業部)	使用量 (L)	5,621	4,272 (△24%)	4,015 (△29%)	4,103 (△27%)	3,935 (△30%)	3,766 (△33%)
	ガソリンの 削減 (技術研究室)	使用量 (L)	743	565 (△24%)	691 (7%)	542 (△27%)	520 (△30%)	498 (△33%)
	ガソリンの 削減 (製造部)	使用量 (L)	3,912	2,973 (△24%)	2,440 (△38%)	2,856 (△27%)	2,738 (△30%)	2,621 (△33%)
	軽油の 削減	使用量 (L)	3,236	2,459 (△24%)	4,447 (+37%)	2,362 (△27%)	2,265 (△30%)	2,168 (△33%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	182,645	138,810 (△24%)	154,645 (△15%)	133,331 (△27%)	127,852 (△30%)	122,372 (△33%)
産業廃棄物排出量		総量 (kg/年)	166,608	126,622 (△24%)	146,428 (△12%)	121,624 (△27%)	116,626 (△30%)	111,627 (△33%)
一般廃棄物排出量		総量 (kg/年)	16,037	12,188 (△24%)	8,217 (△49%)	12,188 (△27%)	11,226 (△30%)	10,745 (△33%)
総排水量		総量 (m ³ /年)	2,502	1,902 (△24%)	1,110 (△56%)	1,826 (△27%)	1,751 (△30%)	1,676 (△33%)

電力のCO₂変換係数は、2018年関西電力の係数（0.352）を用いて算出。

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進する。

- ② グリーン購入の推進・・・リサイクル材への切替え、データ収集の計画。
- ② 有害化学物質の適正管理・・・顧客要求に伴うMSDSの入手と保管

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の目標を含め改訂する事もあります。

※2018年に拡大審査にて本社を含めたため、2019年度より基準年を2018年に変更いたします。

2. 環境経営活動の取り組み計画と評価（奈良事業本部）

「10%以上削減：◎良く出来た」

「5%以上削減：○まあまあ出来た」

「1%以上削減：△あまり出来なかった」

「1%未満削減：×全く出来なかった」

「未達：－」

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
1. 電力の削減	◎	目標：614,309 kWh 実績：591,413 kWh 達成率：27%削減 生産繁忙期は消費電力が増加しているが、設備の使用切り替え等による生産を行なう等で努力されている。また、老朽化設備の交換や、照明器具のLED化等により消費電力を抑えることができた。継続していただきたい。
・不要時の消灯		
・空調温度の適正化		
・不要設備の電源OFF		
・ムリムラムダを排除した生産管理		
・照明器具の効率化		
2. ガソリンの削減（営業部）	◎	目標：4,272 L 実績：4,015 L 達成率：29%削減 遠距離出張を、公共機関にて行なうようにシフトしたことで、大幅なガソリン消費量削減に繋がっている。 今後も、社用車使用時はエコドライブを心掛け、引き続きガソリン消費量削減に取り組んでいただきたい。
・アイドリングストップ		
・急発進・急ブレーキの抑制		
・冷房の控え目使用		
3. ガソリンの削減（技術研究室）	○	目標：565 L 実績：691 L 達成率：7%削減 2018年度削減率目標の24%を大きく下回る実績となった。 商用車であるが故の重量物の積載、出張での使用過多がガソリン消費量の増加に繋がっているが、今後、工夫してガソリン消費を減らす努力をしていただきたい。
・アイドリングストップ		
・急発進・急ブレーキの抑制		
・冷房の控え目使用		
4. ガソリンの削減（製造部）	◎	目標：2,973 L 実績：2,440 L 達成率：38%削減 基準年度比38%の削減達成。 ガソリン車フォークリフトの使用を、バッテリーリフトとの使い分けで抑制し、目標達成に繋がっている。今後も更なる削減に努めていただきたい。
・アイドリングストップ		
・急発進急ブレーキ		
・フォークリフト空ふかし禁止		
・屋内でのバッテリーリフト使用頻度の向上		

5. 軽油の削減	-	目標 : 2,459 L 実績 : 4,447 L 達成率 : 37%増加 生産、加工の増加に伴う物流量の増加が、目標未達であった。 社有トラックでの配送増加も、軽油消費増大の一因。 トラック、フォークリフトの運転も、丁寧に行なっていると見受けられるので、効率化、低燃費化の意識を継続し、軽油の消費量削減に努めていただきたい。
・アイドリングストップ		
・冷房の控え目使用		
・フォークリフトの空ふかし禁止		
・屋内でのバッテリーリフト使用頻度の向上		
6. 産業廃棄物の削減	◎	目標 : 126,622 kg 実績 : 146,428kg 達成率 : 12%削減 2018年度の削減率目標24%は達成できず、基準年度比12%の削減となった。 業績に連動する部分もあったと考えられるが、産業廃棄物削減に努めていただきたい。
・ゴミの分別回収		
・工程不良品削減		
・必要以上のサンプル手配防止		
7. 一般廃棄物の削減	◎	目標 : 12,669 kg 実績 : 8,217 kg 達成率 : 49%削減 基準年度比49%の削減を達成。 完全に分別、再利用等の意識が浸透した結果と考えられる。 今後も継続していただきたい。
・ゴミの分別回収		
・コピー紙の裏紙利用		
・会議資料や事務書類の簡素化		
・両面印刷の徹底		
8. 節水	◎	目標 : 1,902 m ³ 実績 : 1,110 m ³ 達成率 : 56%削減 基準年比56%の削減を実現できている。 目標の、基準年比24%を大きく上回る結果となった。 節水意識の浸透はもちろん、老朽機器の取り換え等の効果が上がったものと考えられる。 今後も継続していただきたい。
・節水運動		
・節水器具の利用		

9. グリーン調達	—	新規製品と価格とのバランスから効果は出にくく、方向性見直しの必要がある。
・リサイクル材への切替え		
・名刺の再生紙への変更		
・グリーン調達品の優先購入		
10. 化学物質の適正管理	◎	今年度も購買先様のご協力により化学物質関連法規の順守、及び各規制化学物質の含有量調査などを継続的に実施した。次年度も環境活動計画に沿って活動する。
・P R T R 法指定化学物質保管量の把握		
・化学物質関連法規の順守		
・顧客規制化学物質含有調査の実施		

3. 環境経営関連法規制等の順守状況（奈良事業本部）

法的義務を受ける主な環境経営関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の送風機4台・7.5kw以上の空気圧縮機4台
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機4台
廃棄物処理法	廃プラ（フロアマットプレス抜きロス）
消防法	指定可燃物貯蔵（製品・仕掛品・原材料）最大数量
フロン排出抑制法	恒温槽1台、チラー2台、空気圧縮機5台
高圧ガス保安法	溶接用ガス（アセチレン・アルゴン・酸素）
下水道法	工場トイレ2ヶ所、営業事務所トイレ2ヶ所

4. 環境経営関連法規制等順守状況の評価結果（奈良事業本部）

環境経営関連法規制等の遵守状況の評価結果、環境経営関連法規制等は遵守されていました。また、過去3年間にわたって関係当局からの違反などの指摘はありませんでした。

5. 代表者による全体の評価と見直し（奈良事業本部）

2018年度（当期）については、基準値を達成できた項目が多かったが、目標値に届かなかった項目が多く見受けられる。

次年度は、更なる目標数値が厳しくなることを踏まえ、より一層一人一人がエコに対する取り組む姿勢が重要となる。

今後も環境経営活動方針に基づき、当本部が全ての項目に対して目標値の達成をできるよう全社員一丸となり活動に取り組む。

1. 環境経営目標とその実績(天理事業本部)

当工場における環境経営目標と実績は次の通りです。

項目		年度		2018年		2019年	2020年	2021年
		2010年 (基準年)		(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
二酸化炭素 排出量		総量 (kg-CO2)	108,577	99,891 (Δ8%)	240,998 (+222%)	98,805 (Δ9%)	97,719 (Δ10%)	96,634 (Δ11%)
内 訳	電力 (製造)	使用量 (kwh)	211,103	194,215 (Δ8%)	630,215 (+324%)	192,104 (Δ9%)	189,993 (Δ10%)	18,788 (Δ11%)
	電力 (営業)	使用量 (kwh)	38,346	35,278 (Δ8%)	21,350 (Δ39%)	34,895 (Δ9%)	34,511 (Δ10%)	34,128 (Δ11%)
	軽油	使用量 (L)	2,938	2,703 (Δ8%)	712 (Δ74%)	2,674 (Δ9%)	2,644 (Δ10%)	2,615 (Δ11%)
	ガソリン	使用量 (L)	9,860	9,071 (Δ8%)	4203 (Δ54%)	8,973 (Δ9%)	8,874 (Δ10%)	8,775 (Δ11%)
	LPG	使用量 (kg)	132.9	122.0 (Δ8%)	20.0 (Δ84%)	121.0 (Δ9%)	119.6 (Δ10%)	118.2 (Δ11%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	16,817	15,472 (Δ8%)	6,372 (Δ62%)	15,303 (Δ9%)	15,135 (Δ10%)	14,967 (Δ11%)
内 訳	産業 廃棄物	廃棄量 (kg/年)	16,500	15,180 (Δ8%)	6,000 (Δ60%)	15,015 (Δ9%)	14,850 (Δ10%)	14,685 (Δ11%)
	一般 廃棄物	廃棄量 (kg/年)	317	292 (Δ8%)	372 (+127%)	288 (Δ9%)	285 (Δ10%)	282 (Δ11%)
総排水量		総量 (m ³ /年)	647	595 (Δ8%)	1,167 (+196%)	589 (Δ9%)	582 (Δ10%)	586 (Δ11%)

電力のCO₂変換係数は、2018年関西電力の係数(0.352)を用いて算出しました。

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進します。

- ①グリーン購入の推進 …リサイクル材への切り替え
- ②環境配慮製品の開発…循環材での新規製品の開発

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の目標を含め改訂することもあります。

2. 環境経営活動の取り組み計画と評価(天理事業本部)

「10%以上削減:◎良く出来た」

「5%以上削減:○まあまあ出来た」

「1%以上削減:△あまり出来なかった」

「1%未満削減:×全く出来なかった」 「未達:—」

取り組み計画	達成 状況	評価(結果と今後の方向)
1. 電力の削減(製造部他)	—	目標 :194,215kwh
・照明の適正管理(蛍光灯交換時 40W→36W)		実績 :630,215kwh
・待機電力の削減		達成度 :324%増加 社内生産の増加により使用量が大幅に増加。

<ul style="list-style-type: none"> 省エネ対応設備類の見直し (冷却エアコンプレッサー→ブローアに変更) 		<p>適正な目標値設定、営業事務所と同様にLED化など、新たな取り組みが必要。</p>
2.電力の削減(営業部他)	◎	<p>目標 :35,278kwh 実績 :21,350kwh 達成度 :39%削減</p> <p>営業事務所内の照明をLEDに変更したことにより省電力化を図ることができた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 省エネ対応空調設備の見直し 		
<ul style="list-style-type: none"> クール・ウォームビズ運動 		
3.軽油の削減	◎	<p>目標 :2,703L 実績 :712L 達成度 :74%削減</p> <p>適正な目標値の設定が必要。</p>
<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ運動展開 		
4.ガソリンの削減	◎	<p>目標 :9,860L 実績 :4,203L 達成度 :54%削減</p> <p>省エネ対応車を購入したことで使用量を削減できた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ運動展開 		
<ul style="list-style-type: none"> 買い替え時に省エネ対応車購入を検討 		
5.LPGの削減	◎	<p>目標 :122.0kg 実績 :20kg 達成度 :84%削減</p> <p>ボイラーの使用については、再考が必要</p>
<ul style="list-style-type: none"> 節約運動 		
6.産業廃棄物(廃プラ)の削減	◎	<p>目標 :15,180kg 実績 :6,000kg 達成度 :60%削減</p> <p>分別により廃棄ではなく粉砕など社内再利用が進んだことから廃棄物排出量を削減できた。</p> <p>押出・加工ロスについてはリサイクル業者への引き取りに変更したことから廃棄物の削減を図ることができた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 分別による社内再利用の見直し検討 		
<ul style="list-style-type: none"> 押出、加工ロスの低減(寸法取りの見直し等) 		
7.一般廃棄物の削減	—	<p>目標 :292kg 実績 :372kg 達成度 :127%増加</p> <p>工場からの廃棄物が増えてきたことから目標を達成出来なかった。今後も増加していく傾向にあると思われるので新たな取り組みが必要。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ゴミの分別 		
<ul style="list-style-type: none"> 焼却→古紙回収 		
<ul style="list-style-type: none"> 電子メールによる印刷コピー削減 		
8. 節水	—	<p>目標 :595 m³ 実績 :1,167 m³ 達成度 :196%増加</p> <p>電力量と同様に適正な目標値設定が必要な項目ではある</p>
<ul style="list-style-type: none"> 節水型便器への交換 		

・クーリングタワーからの水漏れ監視		が、前年度比では24%削減となっている。 使用頻度が高い場所のトイレに限定し、節水型便器への交換を実施した効果が表れたとみられる。
9. グリーン調達	—	リサイクル材への切り替えについては、今後も顧客先との交渉を行い、活動を進める。 名刺の再生材への変更も引き続き推進する。
・リサイクル材への切り替え		
・名刺の再生紙への変更		
・グリーン調達品の優先購入		
10.環境に調和した製品開発	—	顧客先のニーズに沿ったリサイクル材の使用についてVE提案を意識し、開発を継続する事とし、開発が完了した製品に関しては、販売促進を行う。
・リサイクル材の使用検討		

3. 環境経営関連法規等の順守状況(天理事業本部)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の空気圧縮機及び粉砕機
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機及び粉砕機
廃棄物処理法	廃プラ
消防法	消火ポンプ室(防火水槽)
フロン排出抑制法	7.5kw以上の業務用空調機
下水道法	事務所及び工場トイレ

4. 環境経営関連法規制等順守状況の評価結果(天理事業本部)

環境経営関連法規制等順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

5. 代表者による全体の評価と見直し(天理事業本部)

社内生産が安定的に継続されていることから、これまでと同様に「電力使用量」「節水」「一般廃棄物」の項目において未達となった。

その中においても、「電力使用量」では、事務所内照明のLED化、「節水」では使用頻度が高い場所での節水型便器への交換といった取り組みを行い、前年度比では削減できた項目も見られる。

安定的な生産活動を継続していく上において、目標設定並びに活動計画の見直し、新たな取組みの検討を進め、適正な目標値の設定に向けて、準備を進めたい。

1. 環境経営目標とその実績（栃木事業本部）

当工場における環境経営目標と実績は次のとおりです。

項目		年度	2013年 (基準年)	2018年		2019年	2020年	2021年
				(目標)	(実績)			
二酸化炭素 排出量		総量 (kg-CO ₂)	74,716	73,222 (△2.0%)	50,133 (△32.9%)	72,848 (△2.5%)	72,475 (△3.0%)	72,101 (△3.5%)
内 訳	電力の 省エネ	使用量 (kwh)	75,640	74,127 (△2.0%)	80,222 (+8.2%)	73,749 (△2.5%)	73,371 (△3.0%)	72,993 (△3.5%)
	軽油の 削減	使用量 (L)	3,522					
	ガソリンの 削減	使用量 (L)	8,509	8,339 (△2.0%)	4,641 (△44.3%)	8,296 (△2.5%)	8,254 (△3.0%)	8,211 (△3.5%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	28,875	28,297 (△2.0%)	26,640 (△5.9%)	28,153 (△2.5%)	28,009 (△3.0%)	28,009 (△3.5%)
内 訳	産業 廃棄物	廃棄量 (kg/年)	28,695	28,121 (△2.0%)	26,500 (△5.8%)	27,978 (△2.5%)	27,834 (△3.0%)	27,691 (△3.5%)
	一般 廃棄物	廃棄量 (kg/年)	180	176 (△2.0%)	140 (△20.4%)	175 (△2.5%)	174 (△3.0%)	173 (△3.5%)
総排水量		総量 (m ³ /年)	337	330 (△2.0%)	320 (△3.0%)	329 (△2.5%)	327 (△3.0%)	325 (△3.5%)

電力の ω 変換係数は、2018年東京電力の係数（0.475）を用いて算出。

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進する。

- ① グリーン購入の推進・・・リサイクル材への切替。
- ② 環境配慮製品の開発・・・循環材での新規製品の開発。

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の目標を含め改訂する事もあります

2. 環境経営活動の取り組み計画（栃木事業本部）

「10%以上削減：◎良く出来た」 「5%以上削減：○まあまあ出来た」

「1%以上削減：△あまり出来なかった」 「1%未満削減：×全く出来なかった」 「未達：-」

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
1. 電力の削減	-	目標 : 74,127 kWh 実績 : 80,222 kWh 達成率: 8.2%増 前期同様、Fマットの新規イニシャルが続き、試作生産、電気使用設備をほぼ毎月使用した。事務処理、図面設計など残業も増え、事務所および現場で照明器具の使用時間も増加した。来期も受注増が見込まれるが節電意識を持って活動を推進する。
<ul style="list-style-type: none"> ・照明の適正管理（蛍光灯交換時 40W→36W） 		
<ul style="list-style-type: none"> ・不要な照明の消灯 		
<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房の適温化（冷房 28℃以上、暖房 23℃以下） 		
2. 軽油の削減		/
<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの周知徹底 		
<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検の励行 		
3. ガソリンの削減	◎	目標 : 8,339 L 実績 : 4,641 L 達成率: 44.3%削減 社用車5台とも低燃費車になり、また運転者のエコドライブ意識も大きく高まり、ガソリン燃料の消費を削減できた。来期も引き続き、エコドライブ、こまめな点検を行い、削減を推進する。
<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの周知徹底 		
<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検の励行 		
4. 産業廃棄物の削減	○	目標 : 28,121 kg 実績 : 26,500 kg 達成率: 5.8%削減 今期も試作品作成を行い、端材（ロス）が大量に発生したが、目標を達成することができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・異常在庫の分別による社内再利用を推進 		
5. 一般廃棄物の削減	◎	目標 : 176 kg 実績 : 140 kg

・ゴミの分別		達成率：20.4%削減
・紙の使用量削減（裏紙使用）		今期も目標値に対し大きくクリアーしました。現在の活動を継続的にいきさらに大きく廃棄物の削減に取り組みます。
・電子メールによる印刷及びコピーの削減		
6. 節水		
・節水の周知徹底	△	目標：330 m ³ 実績：320 m ³ 達成率：3%削減
・出退勤時の給水バルブ開閉を励行		一昨年に発生した地下水道管の漏水箇所を修繕を行い、昨年度実績より大きく削減はできたが、目標に比べると3%の削減に留まった。もう一度社員全員に節水に努めるよう働きかけていきたいと思ひます。
グリーン調達	○	今年度グリーン購入品目を整理し、その購入比率を高めることに努めた。名刺の再生紙変更については次年度以降で全社的に検討する。次年度も環境活動計画に沿って継続的に活動する。
・リサイクル材への切替え		
・名刺の再生紙への変更		
・グリーン調達品の優先購入		
8. 環境に調和した製品開発	×	次年度以降も環境配慮型素材を使用した製品の開発を推進し、顧客に採用して頂けるように、環境活動計画に沿って活動する。
・環境配慮型素材の製品開発		

3. 環境経営関連法規制等の順守状況（栃木事業本部）

法的義務を受ける主な環境経営関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の空気圧縮機2台
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機2台
廃棄物処理法	廃棄物
フロン排出抑制法	7.5kw以上の業務用空調機4台
下水道法	工場トイレ3ヶ所、営業事務所トイレ2ヶ所

4. 環境経営関連法規制等順守状況の評価結果（栃木事業本部）

環境経営関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

5. 代表者による全体の評価と見直し（栃木事業本部）

昨年は、電気使用量のみ目標未達の結果となりました。

一昨年同様、自動車用品部門の受注増に伴い、一部残業により対応を図った結果であると認識致しております。

今期は受注も少しずつ落ち着く予定であり、また社内空調設備も古く、省エネタイプに切替を検討中。

各項目の計画達成に向け取り組んでまいります。